

1/3/5 (Item 5 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2006 Thomson Derwent. All rts. reserv.

014004195 **Image available**
WPI Acc No: 2001-488409/200153
XRPX Acc No: N01-361435

Position information system uses direction finder such as GPS for phones
Patent Assignee: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD (MATU); MATSUSHITA DENKI
SANGYO KK (MATU)
Inventor: ARIMA M; ISHIGAKI T; KUROSAWA A; MIYANO A
Number of Countries: 027 Number of Patents: 005
Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
WO 200114832	A1	20010301	WO 2000JP5646	A	20000823	200153 B
JP 2001059738	A	20010306	JP 99237434	A	19990824	200153
EP 1132713	A1	20010912	EP 2000954931	A	20000823	200154
			WO 2000JP5646	A	20000823	
US 6448927	B1	20020910	WO 2000JP5646	A	20000823	200263
			US 2001830047	A	20010420	
JP 3488144	B2	20040119	JP 99237434	A	19990824	200410

Priority Applications (No Type Date): JP 99237434 A 19990824

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
WO 200114832	A1	J	30	G01C-021/00	
				Designated States (National):	US
				Designated States (Regional):	AT BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU MC NL PT SE
JP 2001059738	A		11	G01C-021/00	
EP 1132713	A1	E		G01C-021/00	Based on patent WO 200114832
				Designated States (Regional):	AL AT BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LI LT LU LV MC MK NL PT RO SE SI
US 6448927	B1			H04B-007/185	Based on patent WO 200114832
JP 3488144	B2		10	G01C-021/00	Previous Publ. patent JP 2001059738

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-091481
 (43)Date of publication of application : 28.03.2003

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
 G06F 17/30
 H04M 1/247
 H04Q 7/38

(21)Application number : 2001-281583
 (22)Date of filing : 17.09.2001

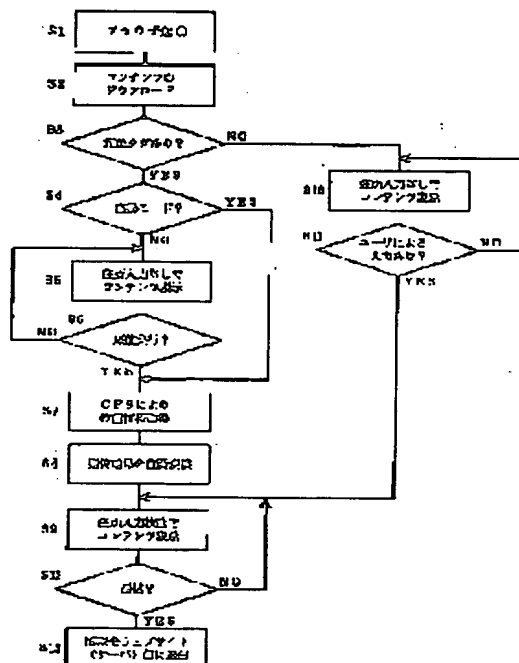
(71)Applicant : DENSO CORP
 (72)Inventor : NINOBI TATSUYA

(54) INFORMATION INPUT SUPPORTING SYSTEM FOR WIRELESS COMMUNICATION TERMINAL AND WIRELESS COMMUNICATION TERMINAL AND INFORMATION INPUT SUPPORTING METHOD FOR THE SAME TERMINAL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the information input supporting system of a wireless communication terminal for allowing a user to save a labor to input prescribed information by operating the wireless communication terminal.

SOLUTION: A position measurement tag is applied to an input field included in contents provided in a Web site, and when a user accesses the Web site by starting a browser mounted on a portable telephone, and downloads the contents (a step S2), the CPU of the portable telephone recognizes the position measurement tag applied to the input field (a step S3, 'YES'), and acquires position information from a GPS wireless part (a step S7), and sets address information acquired by accessing an address converting server in the input field (steps S8, S9), and transmits the inputted information to the Web site side (steps S12, S13).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.07.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 20.12.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-91481

(P2003-91481A)

(43) 公開日 平成15年3月28日 (2003.3.28)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	5 6 0	G 0 6 F 13/00	5 6 0 C 5 B 0 7 5
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 G 5 K 0 2 7
	3 1 0		3 1 0 Z 5 K 0 6 7
H 0 4 M 1/247		H 0 4 M 1/247	
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M
審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 8 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-281583(P2001-281583)

(22) 出願日 平成13年9月17日(2001.9.17)

(71) 出願人 000004260

株式会社デンソー

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

(72) 発明者 新帯 達哉

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会社デンソー内

(74) 代理人 100071135

弁理士 佐藤 強

Fターム(参考) 5B075 KK07 KK34 KK40 NK02 PP10

PP30 PQ02 PQ42 QP10

5K027 AA11 BB02 FF22

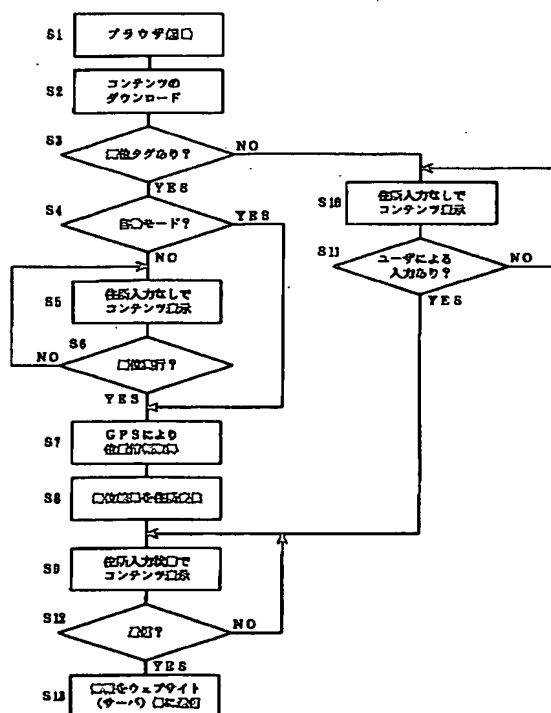
5K067 AA34 BB04 BB21 DD51 FF02

(54) 【発明の名称】 無線通信端末の情報入力支援システム及び無線通信端末並びに無線通信端末の情報入力支援方法

(57) 【要約】

【課題】 ユーザが無線通信端末を操作して所定の情報を入力する手間を省くことができる無線通信端末の情報入力支援システムを提供する。

【解決手段】 ウェブサイトで提供されているコンテンツに含まれる入力フィールドに測位タグを付与しておき、ユーザが携帯電話に搭載されているブラウザを起動してウェブサイトへアクセスし、前記コンテンツをダウンロードすると(ステップS2)、携帯電話機のCPUは、入力フィールドに付与された測位タグを認識して(ステップS3、「YES」)GPS無線部により位置情報を取得し(ステップS7)、住所変換サーバにアクセスして取得した住所情報等を入力フィールドにセットし(ステップS8、S9)、入力した情報をウェブサイト側に送信可能とする(ステップS12、S13)。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツに含まれる入力フィールドに、必要に応じて所定の属性を示すタグを付与した状態で提供するウェブサイトと、ブラウザプログラムと、このブラウザプログラムに基づいてウェブサイトアクセスを行いダウンロードしたコンテンツを表示させる表示手段と、ダウンロードしたコンテンツの入力フィールドに前記タグが付与されている場合は、前記コンテンツの外部から前記タグが示す属性に応じた情報を前記入力フィールドにセットして前記表示手段に表示させ、セットした情報を前記ウェブサイト側に送信可能とする情報セット手段とを備えてなる無線通信端末とで構成されることを特徴とする無線通信端末の情報入力支援システム。

【請求項 2】 前記無線通信端末は、GPS 受信機を備え、前記情報セット手段は、前記タグが示す属性が住所情報である場合には、前記 GPS 受信機により位置情報を取得し、取得した位置情報に基づく住所情報に対応する入力フィールドにセットすることを特徴とする請求項 1 記載の無線通信端末の情報入力支援システム。

【請求項 3】 前記無線通信端末は、複数の地点に対応する位置情報が記憶される記憶手段と、ユーザが前記複数の地点の何れかを指定するための指定手段とを備え、前記情報セット手段は、前記タグが示す属性が住所情報である場合には、ユーザが前記指定手段により指定を行った地点の位置情報を前記記憶手段より読み出して、その位置情報に基づく住所情報に対応する入力フィールドにセットすることを特徴とする請求項 1 記載の無線通信端末の情報入力支援システム。

【請求項 4】 前記無線通信端末が前記位置情報を送信すると、当該位置情報に対応する住所情報を返信可能に構成される住所変換サーバを備えたことを特徴とする請求項 2 または 3 記載の無線通信端末の情報入力支援システム。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の無線通信端末の情報入力支援システムに使用されることを特徴とする無線通信端末。

【請求項 6】 ブラウザプログラムに基づいてウェブサイトアクセスを行い、ダウンロードしたコンテンツを表示手段に表示させる無線通信端末について、前記コンテンツの入力フィールドに対する情報の入力を支援するための方法であって、ウェブサイト側が、コンテンツに含まれる入力フィールドに、必要に応じて所定の属性を示すタグを付与した状態で提供し、前記無線通信端末が、アクセスしたウェブサイトからダウンロードしたコンテンツの入力フィールドに前記タグ

が付与されている場合は、前記コンテンツの外部から前記タグが示す属性に応じた情報を前記入力フィールドにセットして前記表示手段に表示させ、セットした情報を前記ウェブサイト側に送信可能とすることを特徴とする無線通信端末の情報入力支援方法。

【請求項 7】 前記タグが示す属性が住所情報である場合には、前記無線通信端末が GPS 受信機により位置情報を取得して、取得した位置情報に基づく住所情報に対応する入力フィールドにセットすることを特徴とする請求項 6 記載の無線通信端末の情報入力支援方法。

【請求項 8】 前記タグが示す属性が住所情報である場合は、ユーザが無線通信端末の指定手段により指定を行った地点の位置情報を記憶手段より読み出して、その位置情報に基づく住所情報に対応する入力フィールドにセットすることを特徴とする請求項 6 記載の無線通信端末の情報入力支援方法。

【請求項 9】 前記無線通信端末が前記位置情報を住所変換サーバに送信すると、前記住所変換サーバが送信された位置情報に対応する住所情報を無線通信端末側に返信することを特徴とする請求項 7 または 8 記載の無線通信端末の情報入力支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ブラウザプログラムに基づいてウェブサイトアクセスを行い必要なコンテンツをダウンロードする無線通信端末の情報入力を支援する情報入力支援システム及びそのシステムに用いられる無線通信端末、並びに無線通信端末の情報入力支援方法に関する。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】近年、携帯電話機にもパーソナルコンピュータに用いられるものと同様なブラウザプログラムを搭載し、携帯電話機用に作成された多数のウェブサイトユーザがアクセスを行い、様々なコンテンツをダウンロードすることで必要な情報を得ることができるシステムが提供されている。このシステムを利用する際に、コンテンツの種類によっては、例えば、ユーザ情報を通知するため携帯電話機側においてユーザの氏名や住所等を入力したり、或いは、目的地等を指定するために住所等を入力してウェブサイト（サーバ）側に送信する場合がある。

【0003】しかしながら、最近の携帯電話機に代表される無線通信端末は小形化が著しいため、限られたキーを操作して文字変換を行うことで氏名や住所等を入力しなければならず、操作性が悪くユーザの負担が大きいという問題があった。本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、ユーザが無線通信端末を操作して所定の情報を入力する手間を省くことができる無線通信端末の情報入力支援システム、及びそのシステムに用いられる無線通信端末、並びに無線通信端末の情報入

力支援方法を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の無線通信端末の情報入力支援システムによれば、ウェブサイトで提供されているコンテンツには、ユーザ側が何らかの情報を入力するための入力フィールドに必要なに応じて所定の属性を示すタグが付与されている。そして、ユーザが、無線通信端末に搭載されているブラウザプログラムを起動してウェブサイトへアクセスを行った際に、ダウンロードしたコンテンツの入力フィールドにタグが付与されていると、情報セット手段は、前記コンテンツの外部からそのタグが示す属性に応じた情報を対応する入力フィールドにセットして表示手段に表示させ、セットした情報を前記ウェブサイト側に送信可能とする。従って、ユーザは、所定の情報をウェブサイト側に送信するために入力操作を行う必要がなくなり、利便性を向上させることができる。

【0005】請求項2記載の無線通信端末の情報入力支援システムによれば、無線通信端末の情報セット手段は、タグが示す属性が住所情報である場合には、GPS受信機により位置情報を取得し、取得した位置情報に基づく住所情報を対応する入力フィールドにセットする。従って、ユーザは、住所情報を入力するために文字変換を行うなどの操作が不要となり、住所情報を極めて簡単にウェブサイト側に送信することができる。

【0006】請求項3記載の無線通信端末の情報入力支援システムによれば、無線通信端末の情報セット手段は、前記タグが示す属性が住所情報である場合には、ユーザが指定手段により指定を行った地点の位置情報を記憶手段より読み出して、対応する入力フィールドに取得した位置情報に基づく住所情報をセットする。従って、GPS受信機を備えない場合でも、ユーザは、記憶手段に記憶されている複数の地点については何れかを指定することで位置情報を得ることができる。

【0007】請求項4記載の無線通信端末の情報入力支援システムによれば、無線通信端末が位置情報を送信すると、当該位置情報に対応する住所情報を返信可能に構成される住所変換サーバを備える。即ち、無線通信端末は、位置情報に対応した住所情報を自ら保持しなくとも、外部に存在する住所変換サーバを利用して住所情報を得ることが可能となる。従って、無線通信端末側に必要な記憶手段の容量を大幅に削減することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明を、IS (Interim Standard) 801規格上で実現される位置特定システムを利用可能に構成される携帯電話機に適用した場合の一実施例について図面を参照して説明する。IS 801規格上で実現されるシステムでは、携帯電話機は、幾つかの基地局から当該基地局を表す基地局識別番号 (Base-ID) を受信すると、その受信された幾つかの基地

局識別番号のうちからいずれかの基地局識別番号により表される基地局を自機との間で通信する通信基地局として決定し、その通信基地局として決定された基地局を表す基地局識別番号を位置情報サーバに送信する。

【0009】位置情報サーバは、携帯電話機から基地局識別番号を受信すると、その受信された基地局識別番号に基づいて携帯電話機のおおよその位置を特定すると共に、携帯電話機がGPS (Global Positioning System) 衛星を捕捉するのに有益なアシスト情報を携帯電話機に送信する。そして、携帯電話機は、位置情報サーバからアシスト情報を受信すると、その受信されたアシスト情報に基づいてGPS衛星を捕捉する。このものによれば、携帯電話機は、位置情報サーバから受信されたアシスト情報に基づいてGPS衛星を捕捉することができる分、負荷を軽減することができ、また、測位を開始するまでの時間を短縮することができるなどの利点がある。

【0010】図4は、携帯電話機の機能ブロックならびに周辺の構成を概略的に示している。携帯電話機 (無線通信端末) 1は、CPU (Central Processing Unit) 2 (情報セット手段) に、GPS (Global Positioning System) 衛星3を捕捉する (GPS電波を無線処理する) GPS無線部 (GPS受信機) 4と、CDMA (Code Division Multiple Access : 符号分割多元接続) 方式に準じた電話処理を行うCDMA無線部5と、マイクロホン6から入力した送話音声やスピーカ7から出力する受話音声を処理する音声処理部8と、「通話開始」キー、「通話終了」キー、「0」～「9」の「数字」キーなどの多数のキーを配列したキーパッドから構成される操作部9と、日付・時刻や電話番号などを表示する液晶ディスプレイから構成される表示部 (表示手段) 10と、RAM (Random Access Memory) やROM (Read Only Memory) から構成される記憶部11と、計時機能を有する計時部12とが接続された構成となっている。

【0011】このような構成では、携帯電話機1は、例えばユーザによる測位の開始を指示する操作が操作部9にてあった場合には、幾つかの基地局13から当該基地局13を表す基地局識別番号 (Base-ID) を受信し、その受信された幾つかの基地局識別番号のうちからいずれかの基地局識別番号により表される基地局13を例えば受信電波の受信電界強度などに基づいて自機1との間で通信する通信基地局として決定し、その通信基地局として決定された基地局13を表す基地局識別番号を基地局13、基地局制御装置14ならびにCDMA電話網15を通じて位置情報サーバ16に送信する。

【0012】位置情報サーバ16は、携帯電話機1から基地局識別番号を受信すると、その受信された基地局識別番号に基づいて携帯電話機1のおおよその位置を特定すると共に、携帯電話機1がGPS衛星3を捕捉するのに有益なアシスト情報をCDMA電話網15、基地局制

御装置14ならびに基地局13を通じて携帯電話機1に送信する。そして、携帯電話機1は、位置情報サーバ16からアシスト情報を受信すると、その受信されたアシスト情報に基づいてGPS衛星3を捕捉する。記憶部11には、コンテンツサーバ17に配置されているウェブサイト18にアクセスを行うためのブラウザプログラム（以下、単にブラウザと称す）19が配置されており、ユーザは、操作部9を操作することによりブラウザ19を起動してアクセスを行う。

【0013】コンテンツサーバ17は、携帯電話機1によってアクセスが行われた場合に、ウェブサイト18のコンテンツデータをCDMA電話網15、基地局制御装置14ならびに基地局13を通じて携帯電話機1に送信し、携帯電話機1のブラウザ19は、受信したコンテンツデータに基づくページ画面などを表示部10に表示する。尚、コンテンツサーバ17は実際には複数存在するものを代表的に1つで図示している。

【0014】また、住所変換サーバ20は、携帯電話機1がGPSにより取得した位置情報に対応する住所情報等を得るためCDMA電話網15を介してアクセスするものであり、緯度、経度に対応した住所、例えば「××県××市××町×丁目×番×号」といったような住所情報や、その住所に対応する郵便番号などを得ることができるようにしている。

【0015】次に、本実施例の作用について図1乃至図3をも参照して説明する。図1は、ユーザがコンテンツサーバ17にアクセスを行う場合におけるCPU2の処理内容を示すフローチャートである。CPU2は、先ずブラウザ19を起動して（ステップS1）ウェブサイト18にアクセスし、コンテンツデータをダウンロードする（ステップS2）。そして、ダウンロードしたデータ中に測位タグが含まれているか否かを判断する（ステップS3）。

【0016】ここで、図3には、HTML(Hyper Text Markup Language)ファイル形式のコンテンツデータの一例を示す。この場合、<INPUT>タグのテキストフィールドの初期値(デフォルトテキスト)を指定する属性“VALUE”を拡張し、“VALUE=#GPS_ZIP”であれば郵便番号の入力フィールド、“VALUE=#GPS_ADD”であれば住所の入力フィールドと規定しておき、ウェブサイト18の作成者は、その規定に基づいて図3のようにHTMLファイルを記述する。

【0017】即ち、“VALUE=#GPS_ADD”の記号#が、本発明独特の属性を指定する記述となっている。また、ステップS3における“測位タグ”とは、これら“VALUE=#GPS_ZIP”、“VALUE=#GPS_ADD”などのタグであり、“GPS”が接頭辞として付与されることで、GPSによる測位の結果得られる情報であることを示している。そして、図3に示すHTMLファイルによって携帯電話機1の表示部10に表示される画面は、例えば図2(a)のように

なる。

【0018】再び図1を参照して、ステップS3において、コンテンツデータに測位タグが含まれていると判断すると(「YES」)、CPU2は、自動モードであるか否かを判断する(ステップS4)。自動モードに設定されている場合(「YES」)、CPU2は、GPS無線部4により位置情報を取得する(ステップS7)。この場合、前述したように、位置情報サーバ16は、携帯電話機1より受信した基地局識別番号に基づいて携帯電話機1のおおよその位置を特定し、携帯電話機1がGPS衛星3を捕捉するのに有益なアシスト情報を携帯電話機1に送信する。そして、携帯電話機1は、位置情報サーバ16より受信したアシスト情報に基づいてGPS衛星3を捕捉し、受信したGPS信号に基づいて測位を行い、位置情報を取得する。携帯電話機1のユーザが自宅にいる場合には、測位結果は自宅の位置を示すことになる。

【0019】続いて、CPU2は、住所変換サーバ20にアクセスを行い、ステップS7で取得した位置情報に対応する住所情報を得ると(ステップS8)、その住所情報をコンテンツデータの入力フィールドに予め入力した状態で表示部10に表示させる(ステップS9)。即ち、この場合には、予め図2(b)に示す状態で、郵便番号の入力フィールドには「448-8661」、住所の入力フィールドには「愛知県刈谷市昭和町1-1」のように入力された状態で表示が行われる。

【0020】そして、図2(b)に示す状態で、入力フィールドに入力された郵便番号、住所の情報はウェブサイト18側に送信可能となっている。ユーザが、操作部9によって送信操作を行うと(ステップS12、「YES」)、入力フィールドに入力された情報は、CDMA無線部5、基地局13、基地局制御装置14、CDMA電話網15を介してコンテンツサーバ17のウェブサイト18に送信される(ステップS13)。

【0021】一方、ステップS4において自動モードが設定されていない場合(「NO」)、CPU2は、入力フィールドに住所入力がない状態で、即ち、先ず図2

(a)に示す状態で表示部10に表示を行う(ステップS5)。それから、ユーザによって測位が実行されるまで待機する(ステップS6)。図2(a)に示す画面には、測位ボタンが表示されており、ユーザが画面上のカーソル(図示せず)を操作して測位ボタンを押下すると(「YES」)ステップS7に移行する。すると、この段階でステップS7～S9が実行されて、図2(b)に示すように入力フィールドに郵便番号や住所が入力された状態で表示が行われる。

【0022】また、ステップS3において、コンテンツサーバが本発明のシステムに対応しておらず、測位タグが付加されていない場合には(「NO」)、CPU2は図2(a)に示す状態で表示部10に表示を行う(ステ

ップ S10)。そして、ユーザが従来通りに操作部 9 を操作して文字変換などを行い住所を入力すると（ステップ S11, 「YES」）ステップ S9 に移行する。

【0023】以上のように本実施例によれば、ウェブサイト 18 で提供されているコンテンツに含まれる入力フィールドに測位タグを付与しておき、ユーザが携帯電話機 1 のブラウザ 19 を起動してウェブサイト 18 にアクセスし、前記コンテンツをダウンロードすると、携帯電話機 1 の CPU 2 は、コンテンツの外部から入力フィールドに付与された測位タグに応じた情報をその入力フィールドにセットする。そして、入力した情報をウェブサイト 18 側に送信可能とする。具体的には、CPU 2 は、測位タグを認識すると GPS 無線部 4 により位置情報を取得し、住所変換サーバ 20 にアクセスして取得した住所情報等を入力フィールドにセットするようにした。

【0024】従って、ユーザは、住所情報等のユーザ情報をウェブサイト 18 側に送信するために文字変換を行うなどの入力操作が不要となり、利便性を向上させることができ、住所情報等を極めて簡単にウェブサイト 18 側に送信することができる。また、携帯電話機 1 は、位置情報に対応した住所情報等を自ら保持しなくとも、外部に存在する住所変換サーバ 20 を利用して住所情報等を得ることができるので、携帯電話機 1 側に必要な記憶部 11 の容量を大幅に削減することができる。

【0025】本発明は上記し且つ図面に記載した実施例にのみ限定されるものではなく、次のような変形または拡張が可能である。IS801 規格に基づく GPS 無線部 4 に限らず、単なる GPS 受信機によって GPS 衛星 3 からの GPS 信号のみを受信し、一般的な手順で位置情報を取得しても良い。また、GPS 無線部 4、或いは GPS 受信機は必ずしも必要ではなく、例えば、ウェブサイト側に目的地等の情報を送信する必要がある場合には、目的地として想定される複数の地点（例えば、名古屋駅、東山動物園、名古屋港水族館など）と、それらの地点の位置情報を予め対応付けてメモリ等の記憶手段に

記憶させておき、それらの何れかをユーザが操作部（指定手段）9 を操作することで指定し、実施例と同様に、その位置情報を住所変換サーバ 20 に送信して住所情報等を得るようにしても良い。或いは、住所変換サーバは不要として、記憶手段に住所情報等まで記憶させておき、記憶手段より直接読出した住所情報等を入力フィールドにセットしても良い。

【0026】コンテンツ側で必要に応じて郵便番号セット用のタグ“VALUE=#GPS_ZIP”は削除し、住所情報のみをセットさせるようにしても良い。タグが示す所定の属性は、住所情報等に限ることなく、例えば、携帯電話機 1 のユーザの氏名を指定するタグ“VALUE=#NAME”が付与されている場合は、その氏名を記憶部 11 より読み出してセットするなど、コンテンツの外部に存在する情報であれば何でも良い。無線通信端末は携帯電話機 1 に限ることなく、例えば PHS (Personal Handyphone System) や PDA (Personal Digital Assistants) 等であっても良い。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施例であり、ユーザがコンテンツサーバにアクセスを行う場合における携帯電話機の CPU の処理内容を示すフローチャート

【図 2】（a）は入力フィールドに住所情報等がセットされる前における、携帯電話機の表示部の画面例であり、（b）は入力フィールドに住所情報等がセットされた後の前記画面例を示す図

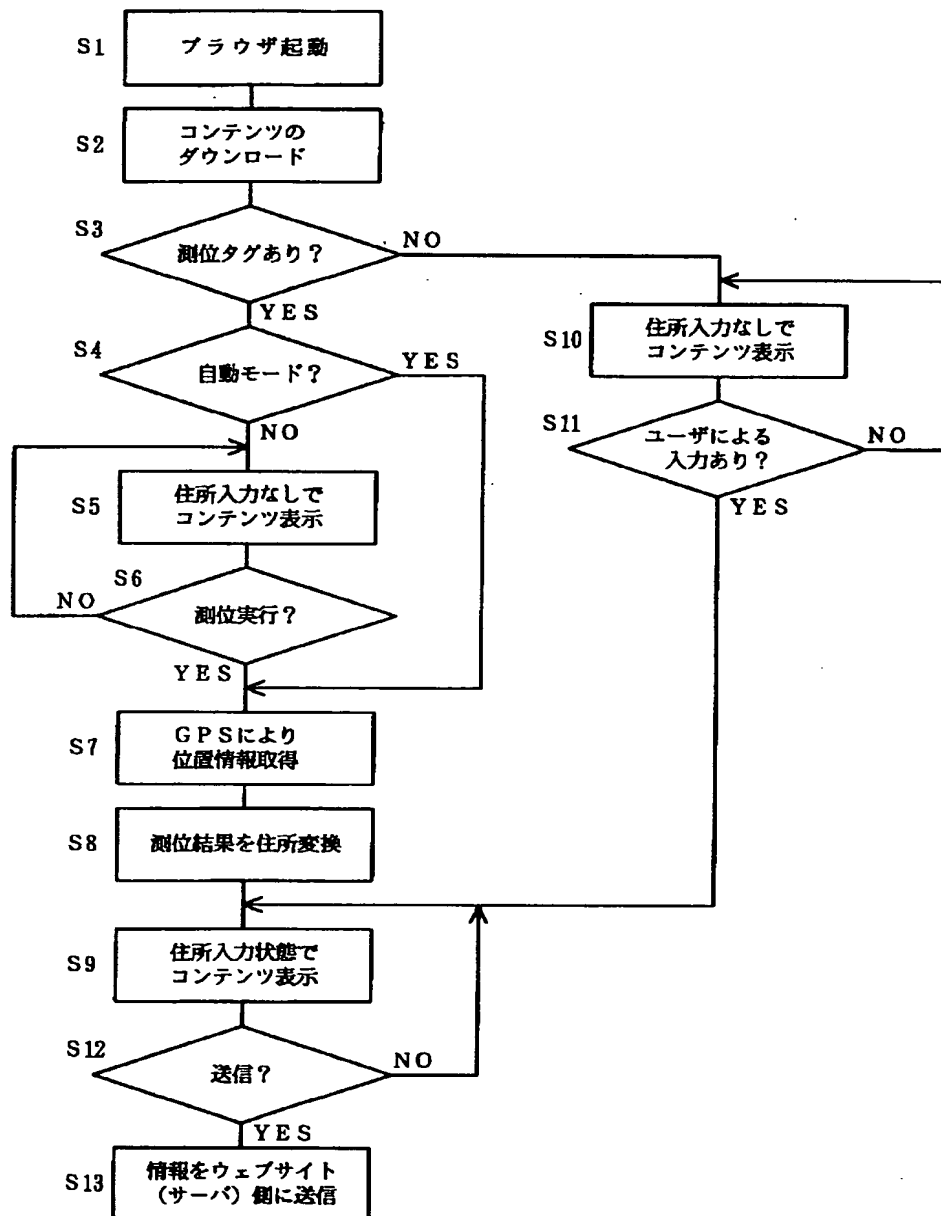
【図 3】HTML ファイル形式のコンテンツデータの一例を示す図

【図 4】携帯電話機の機能ブロックならびに周辺の構成を概略的に示す図

【符号の説明】

1 は携帯電話機（無線通信端末）、2 は CPU（情報セット手段）、4 は GPS 無線部（GPS 受信機）、10 は表示部（表示手段）、17 はコンテンツサーバ、18 はウェブサイト、19 はブラウザプログラム、20 は住所変換サーバを示す。

【図1】



【図 2】

(a)

郵便番号

住所

測位

10

(b)

郵便番号

448-8661

住所

愛知県刈谷市昭和町1-1

測位

10

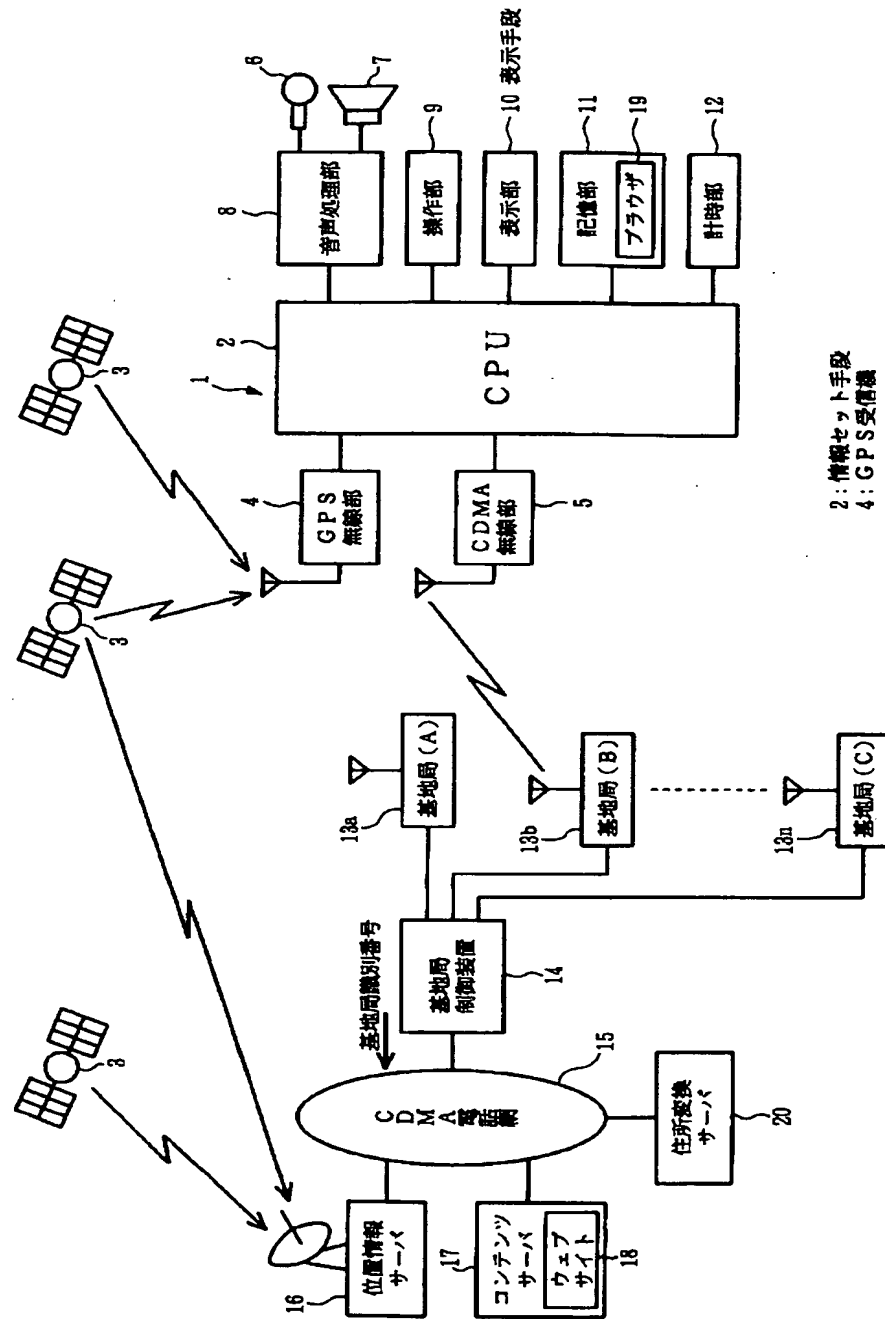
【図 3】

```

<FORM METHOD="POST" ACTION="/cgi-bin/post.pl">
郵便番号:<INPUT SIZE=10 NAME="zip_code" VALUE=$GPS_ZIP><P>
住所:<INPUT SIZE=50 NAME="address" VALUE=$GPS_ADD><P>
<INPUT TYPE="submit" VALUE="送信"> <INPUT TYPE="reset" VALUE="クリア"><P>
</FORM>

```

【図4】



2: 情報セット手段
4: GPS受信機